

2017/04/21(金)17:44

授業名	臨床医学各論A	単位数	4.0
対象学年	1年	対象学期	前期、後期
対象クラス	診療情報管理	必須／選択	選択
担当教員	打出 喜義	E-maill	uchide@komatsu-c.ac.jp

授業の概要

1年前期に於いては、「感染症および寄生虫症」について学習し、「感染性微生物」についての基礎的知識を習得し、「感染する」とはどのようなことかについて理解する。
1年後期には、「新生物」について知見を深める。新生物とは生体の組織制御機構とは無関係に増殖するため生体にしばしば悪影響を及ぼすことになる。

学習成果(身につけられる力に○、複数可)

知識	技能	思考・推論する力	発表・表現・伝達の力
○		○	

到達目標

合格の目安	病原性微生物(細菌、ウイルス、原虫、真菌)と、その感染によって発症する感染症、および小動物が身体の内外に寄生することによる寄生虫症を理解する。この授業では、パワーポイントで図表を使用しながら理解を深める。
目標資格等	診療情報管理士

準備学習

次回授業範囲を予習してくること、特に読めない漢字がないように！

使用テキスト

診療情報管理士テキスト「診療情報管理 I 基礎・医学編」 社団法人 日本病院会

参考図書

「からだの地図帖」高橋 長雄、「病気の地図帖」 講談社
「病気がみえる」Vol. 6 免疫・膠原病・感染症 MEDIC MEDIA

評価方法(100分率の記述)

試験	小テスト	レポート	口頭発表・実技	作品	学習への取組	その他
80点					20点	

授業計画

回数	学習内容	授業の運営方法
1	臨床医学各論Aを始める前に 感染、寄生とは	講義(配布資料、パワーポイント供覧)
2	1. 腸管感染症 コレラ～ウイルス性下痢 (教科書200～204p)	同上
3	2. 結核 (教科書205～207p)	同上
4	3. 人畜共通細菌性疾患 ペスト～リステリア症 (教科書208～212p)	同上
5	3. 人畜共通細菌性疾患 破傷風～流行性脳脊髄膜炎 (教科書213～216p)	同上
6	3. 人畜共通細菌性疾患 敗血症～マイコプラズマ感染症 (教科書217～222p)	同上
7	5. 主として性的伝搬様式をとる感染症 梅毒～トリコモナス症 (教科書223～226p)	同上

8	6. その他のスピロヘータ疾患 回帰熱、ライム病 7. クラミジアによるその他の疾患 オウム病、トラコーマ (教科書226～229p)	同上
9	8. リケッチア症 発疹チフス～Q熱 9. 中枢神経系のウイルス感染症 急性灰白髄炎～進行性多巣性白質脳症 (教科書229～233p)	同上
10	9. 中枢神経系のウイルス感染症 狂犬病～ウイルス性髄膜炎 10. 節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱 デング熱～ラッサ熱 (教科書234～238p)	同上
11	11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症 ヘルペスウイルス感染症～尋常性疣贅 (教科書238～241p)	同上
12	12. ウイルス肝炎 13. ヒト免疫不全ウイルス病 (教科書242～248p)	同上
13	14. その他のウイルス疾患 15. 真菌症 (教科書248～253p)	同上
14	16. 原虫疾患 (教科書258～255p)	同上
15	17. ぜん虫症 (教科書256～260p)	同上
16	試験	
オフィスアワー		